

高校生、社会人大学生を破る

11月10日愛知県大府市のあいち健康の森で開催された第25回東海クラブカップリレーにおいて、男子で東海高校は名古屋大、三河 OLC を抑えて優勝した。東海は3位にも中学生を交えたチームが入った。2位は名古屋大。連覇を狙ったルーパーは第1走者が失格となり、連覇はならなかった。

女子は若手中心のルーパーが椋山女学園を抑えて連覇。

レースが始まるころには雨も上がり、よいコンディションの中で行われた。



リレーのスタート

大規模獣害防止柵の設置が進む愛知

愛知県の山間部ではイノシシにより、稲などが食べられ、多くの農家が被害に悩んでいます。田の周りの電気柵は従来から行われている侵入防止対策ですが、最近愛知県では大規模な柵が山を課囲むように張り巡らせています。これは、以前北陸の山口前 JOA 理事が言っておられた柵に似ているものかもしれません。山を囲むように設置されるので、我々オリエンティアなどは山へ入ることもできないし、外へ出ることもできないことになります。

最初に見たのは2年前の第4回昇竜杯オリエンテーリング大会の会場となった東三河ふるさと公園で公園の西側で、田畑と直接隣接するところや道をへだてて田畑があるところ。宅地や家庭菜園程度のものが点在するような側には設置されていません。これは集落の農家がまとまって、県の担当部

署と相談して行うため、地域の差が出てきます。

この柵は人間が山に入ることを防ぐものではなく、獣が山から出ないようにすることが目的なので、事情を話せばオリエンテーリングも可能なはずです。

柵は大きく山を囲むように設置されるため、通行の少ない山道は柵で仕切られることがあります。道なので柵は当然開閉可能になっていますが、出入り後は必ず閉めて、ひもや針金で容易にあかないようにして置くことが重要で、集落の人以外が出入りするような場所では、注意書きがあるところもあります。

山から山に沿った道へ出ることができなくなるのでオリエンテーリングにとっては大きな制約となります。



道に沿って山側に設置された柵。右手の階段状の道への出入りも仕切られている。



脇道との分岐の開閉可能な部分。通ったら閉めて、ひもで縛って置く。



分かりにくいですが、田んぼの中の舗装路を遮断するように設置された柵。これは複数の区画をまとめて囲み柵のコストダウンを図っている。

国産割りばしの利用

割りばしは材木の有効利用という観点から考えだされたものであり、国産割りばしは建築資材の端材や間伐材から作られ、林業のためには大変役立っている。

しかし、現在割りばしの98%は輸入品であり、そのうち99%は中国からのものである。環境問題で以前割りばしの使用を見直す声が高まったがこれは海外における森林伐採のことから大きく取り上げられた。

輸入の増加は下記のように大きな価格差があり、これが輸入増加の大きな要因でもあり、海外における環境の問題につながった。

我々は、森もスポーツの愛好者である。国産割りばしを使って、森を守りませんか。



国産杉の割りばし 楽天価格 20膳 141円



たぶん輸入もの 100膳 180円